

夏季の高温対策について学ぶ！

～施設野菜における現地検討会を開催～

山武農業事務所改良普及課 令和6年10月9日発

近年の猛暑は、農作物の生育や品質に大きな影響を及ぼしています。そこで農業事務所では、施設野菜における夏季の高温対策について現地検討会を9月3日に開催しました。現地検討会には、生産者及び関係機関 15 名が参加し、農業事務所からは、通気性の高い微細防虫ネットや少量多かん水を可能にする自動かん水装置の導入事例について、説明を行いました。参加者からは、「目合いの細かいネットでも温度の上昇を避けられることが確認できて良かった。今後利用を検討したい。」「自動かん水による作業の効率化に関する知識を深められて良かった」等の感想が聞かれました。

今後も当事務所では、野菜産地の維持・発展のため、関係機関と連携しながら、安定生産に向けた栽培管理技術導入の支援を行っていきます。



微細防虫ネット導入ほ場での意見交換



自動かん水装置の概要説明